



福岡医発第 417 号 (地)
令和 5 年 5 月 9 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

職場における熱中症予防対策セミナーの開催について (ご案内)

拝啓 貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、職場における熱中症による死亡者数は、毎年全国で約 20 人、4 日以上欠勤する方は、約 600 人となっております。

このような中、厚生労働省では、平成 29 年から労働災害防止団体などと連携して、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組みを進めているところです。(本件については、令和 5 年 3 月 27 日付け福岡医発第 3483 号 (地) 文書においてご連絡済み。)

今般、本取組みの一環として、標記セミナーを開催する旨、福岡労働局より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

(1) 令和 5 年 5 月 29 日 (月) 14:00 ~ 15:30

- ・講演内容 「熱中症の予防について」
- ・講 師 ダイハツ九州株式会社 産業医 垣内 紀亮 氏
- ・会 場 リファレンス駅東 (福岡市博多区博多駅東 1-16-14)
- ・定 員 100 名

(2) 令和 5 年 6 月 1 日 (木) 14:00 ~ 15:30

- ・講演内容 「熱中症の予防について」
- ・講 師 産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学研究室
教授 堀江 正知 氏
- ・会 場 福岡合同庁舎本館 5 階 中会議室 A B

(福岡市博多区博多駅東 2-11-1)

・定 員 60 名 (会場)、300 名 (Z o o m)

△申込方法 別紙「令和 5 年度 熱中症予防対策セミナー」の参加申込先に
記載の申込先 URL 又は申込先 QR コードからお申込み下さい。

△問合せ先 福岡労働局 労働基準部 健康課 TEL (092-411-4798)

以上

事業者団体 殿

福岡労働局長
(公印省略)

職場における熱中症予防対策セミナーの開催について

日頃から労働行政の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、熱中症予防対策に関しましては、本年度の「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施に当たり、先月、各種取組についての協力依頼をさせていただいているところですが、今般この取組の一環として、標記セミナーを下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、会員事業場に対し、引き続き、熱中症対策について周知していただくとともに、セミナーへの参加勧奨に特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今般セミナーの開催に係る案内資料及びキャンペーンリーフレットを別添のとおり送付致しますので、傘下会員事業場への周知等にご活用いただきますよう併せてお願い申し上げます。

記

1 開催日時

- ① 令和5年5月29日(月) 14時 ～ 15時30分
- ② 令和5年6月 1日(木) 14時 ～ 15時30分

2 会場

- ① リファレンス駅東ビル (福岡市博多区博多駅東1丁目16番14号)
- ② 福岡合同庁舎本館5階 中会議室AB (福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号)

3 講演(予定)

- ① 演題:「熱中症の予防について」

講師 垣内 紀亮 氏
ダイハツ九州株式会社 産業医

- ② 演題:「熱中症の予防について」

講師 堀江 正知 氏
産業医科大学 産業保健管理学研究室 教授

4 問合せ先

福岡労働局 労働基準部 健康課

担当:深町 電話(092)411-4798



令和5年度 熱中症予防対策セミナー

主催：福岡労働局・建設労働災害防止協会・福岡産業保健総合支援センター

「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」～職場における熱中症死亡ゼロを目指して～

職場における熱中症で亡くなる人は、毎年全国で約20人、4日以上仕事を休む人は、約600人となっています。

厚生労働省では、労働災害防止団体などとの連携の下、職場における熱中症の予防のため「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、重点的な取組を進めています。

各事業場においては、事業者、労働者が協力して、熱中症予防への取組を進めましょう！

福岡労働局では、福岡産業保健総合支援センターと共催で、熱中症予防のためのセミナーを開催いたします。

会場・日時

- 日時 令和5年5月29日（月）
14：00 ～ 15：30
- 会場 福岡市博多区博多駅東1丁目16番14号
リファレンス駅東
- 定員 100名

無料

講演

- 内容 「熱中症の予防」
※ 熱中症のメカニズムと予防対策を説明します。
- 講師 垣内 紀亮 氏
(ダイハツ九州株式会社 産業医)

申込み

- 下記受付サイトから、お申し込みください。
定員になり次第、締め切らせていただきます。

熱中症予防対策セミナー 参加申込先

労働局・労働基準監督署説明会等受付サイト

申込先URL（受付開始4月15日～5月22日）

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

申込先QRコード



（申し込み・お問い合わせ）

◎ 福岡労働局 労働基準部 健康課

所在地 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号

電話番号 092-411-4798

令和5年度 熱中症予防対策セミナー(会場及びZOOM配信)

主催：福岡労働局・福岡産業保健総合支援センター

「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」～職場における熱中症死亡ゼロを目指して～

職場における熱中症で亡くなる人は、毎年、全国で約20人、4日以上仕事を休む人は約600人となっています。

厚生労働省では、労働災害防止団体などとの連携の下、職場における熱中症の予防のため「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、重点的な取組を進めています。

各事業場においては、事業者、労働者が協力して、熱中症予防への取組を進めましょう!

福岡労働局では、福岡産業保健総合支援センターと共催で、熱中症予防のためのセミナーを開催いたします。

会場・日時

- 日時 令和5年6月1日(木)
14:00 ~ 15:30

無料

講演

- 会場 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号
福岡合同庁舎本館5階 中会議室A B
- 定員 60名(会場)
- 視聴 ZOOM配信(定員300名)
- 内容 「熱中症の予防」
※ 熱中症のメカニズムと予防対策を説明します。
- 講師 堀江 正知 氏
(産業医科大学 産業生態科学研究所 教授)

申込み

- 下記受付サイトから、お申し込みください。
定員になり次第、締め切らせていただきます。
- オンライン説明会への参加にはインターネット環境が必要となります。
- 説明会の視聴にあたっては、視聴に使用する端末へのZoomアプリのインストールが推奨されます。
Zoomアプリがインストールされていない場合でも、一部のブラウザでの参加が可能ですが、機能が制限される場合があります。

熱中症予防対策セミナー 参加申込先

労働局・労働基準監督署説明会等受付サイト

申込先URL (受付開始4月20日～5月25日)

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

(申し込み・お問い合わせ)

◎ 福岡労働局 労働基準部 健康課

所在地 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号

電話番号 092-411-4798

申込先QRコード



熱中症防止のための健康管理自主点検票

熱中症予防のためには、的確な熱中症予防対策を講じることが大切です。点検確認していただいた事項で、対応が十分にできていないと思われる項目がある場合には、改善を含めた対応策を検討され実施するようにしてください。

点検事項		点 検 欄		留 意 事 項
管理体制	熱中症対策の内容を労働者に周知していますか	はい	いいえ	熱中症対策を作成して実施するものですが、効果を上げるためには、責任者が実施状況を日々確認していくことが重要です。
	熱中症対策の責任者を選任していますか	はい	いいえ	
	責任者、管理者は定期的に熱中症防止の巡視をしていますか	はい	いいえ	
作業環境管理	熱中症暑さ指標計、温度計、湿度計などにより測定を随時行っていますか	はい	いいえ	熱中症の発生の危険を見極めるためには、天候の条件を把握して備えることが重要です。危険が高まれば、水分等の補給ができるようにして、休憩室等で涼めるようにしておくことが必要です。
	作業場所の近隣に涼しい休憩場所を確保していますか	はい	いいえ	
	水分、塩分等が補給できるようにしていますか	はい	いいえ	
作業管理	身体作業強度が高い作業を避けるために、連続作業時間の短縮をしていますか	はい	いいえ	十分な休憩時間の確保、暑さになれない者に対する配慮、強制的な水分補給、屋外などの作業では帽子などに工夫が必要です。
	暑さに慣れるために、熱への順化期間を設けていますか	はい	いいえ	
	水分、塩分等を定期的に摂取させていますか	はい	いいえ	
	透湿性及び通気性の良い服装を着用していますか	はい	いいえ	
健康管理	睡眠不足、体調不良、前日の飲酒などの影響を把握していますか	はい	いいえ	労働者の毎日の体調管理が大事になります。
	糖尿病、高血圧等の関係の深い定期健康診断項目に所見のある者のその日の健康状態を確認していますか	はい	いいえ	
教育	労働者に対して、熱中症予防に対する教育を行っていますか	はい	いいえ	熱中症に対する知識を備えることが必要です。
救急処理	熱中症の災害が発生した場合の緊急連絡体制を整備していますか	はい	いいえ	万が一の災害発生の場合には、迅速で的確な対応ができれば、重大な事態を避けることにつながります。
	熱中症を疑う症状が現れた場合の救急措置ができるようにしていますか	はい	いいえ	

STOP！熱中症

クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。



労働災害防止キャラクター

チューイ カン吉



キャンペーン
実施要項

準備

キャンペーン期間

4月

5月

6月

7月

8月

9月

重点取組

準備期間（4月）にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、チェックしましょう

☐	労働衛生管理体制の確立	事業場での熱中症予防の責任体制を確立
☐	暑さ指数の把握の準備	JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検
☐	作業計画の策定	暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定
☐	設備対策の検討	簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討
☐	休憩場所の確保の検討	冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討
☐	服装の検討	透湿性と通気性の良い服装を準備、身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討
☐	緊急時の対応の事前確認	緊急時の対応を確認し、労働者に周知
☐	教育研修の実施	管理者、労働者に対する教育を実施

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

(R5.2)

キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP
1

暑さ指数の把握と評価

- ☐ JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効



環境省
熱中症予防情報
サイト

STEP
2

測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

☐	暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施
☐	休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置
☐	服装	準備期間に検討した服装を着用
☐	作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
☐	暑熱順化への対応	7日以上かけて熱へのばく露時間を次第に延長 ※新規入職者や休み明け労働者に注意
☐	水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取
☐	プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減
☐	健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢
☐	日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認
☐	作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導
☐	異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置 ※全身を濡らして送風することなどにより体温を低減 ※一人きりにしない

重点取組期間（7月）にすべきこと

- ☐ 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- ☐ 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- ☐ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- ☐ 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- ☐ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- ☐ **体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく救急隊を要請**